やましろMTBツアーズ2017・パイロット版

・・・懸案事項・・・

各位

お世話になります。まずチラシ案の囲みを再録します。
～やましろエリアには、「山代街道」「津和野街道」「岩国往来」と、旧道が交錯しており、上級者向けＭＴＢラリーレイドで何度か利用しました。それを中級者向けにアレンジして定期開催できるよう、地元とのタッグの可能性を探るパイロット企画を昨年より実施しています。今回は、羅漢山周辺にルートを探しますが、訳アリだという事を理解した上でご参加ください！？～

この中に、やましろエリアの可能性と、ＭＴＢの課題が示されています。

“やましろエリア”には、中国自然歩道や旧街道再利用の看板を見かけるように、予想以上に多くの山道の痕跡があります。しかし岩国市内からのアクセスに難があり、西中国山地の典型的な過疎地として人口減に直面していて、利用者は限られ、インフラ整備も追いついていません。
それでも里山と奥山の両方の特徴があり、歴史街道と生活道が絡むこのエリアは、地元と利用者の適度な距離が保てて、表情の異なる山道に対して色々な利用方法が提案でき、遠方からのＭＴＢ愛好家を呼び寄せるには十分の魅力を持っています。

そして“訳あり”の部分ですが、地元のご理解ご協力が必要なのは当然として、ここだけでは解決できないＭＴＢの山道走行問題を含む、自転車市民権獲得が横たわっています。いわゆる“サイクリングの法的根拠”です。

★ＭＴＢ山道走行の問題・・・ＭＴＢの好む山道には、林道以外に、登山道や作業道、獣道、旧街道など、様々な未舗装路が挙げられ、トレイルやダブルトラック、シングルトラックと呼んでいます。しかし、警察の見解や、保険の保証内容など、これらのトレイルは、一般道と認識されない場合が多々あります。そのため、日常のセキュリティや使用許可の問題がまず前面にあり、そして利用できたとしても、搬送や道普請の問題も潜在的にあります。
★サイクリングの法的根拠・・・個人の自転車利用に関しては、自転車旅だろうが通勤だろうが、正に自己責任です。ところが一旦呼び掛け人等が存在すると責任の所在が発生し、サイクリング大会では特別な許可が必要だったり、自転車通学では安全や迷惑を考え特殊な通学路が設けられたりします。

そう言った地元の役割や、全体的な課題の存在を踏まえ、今回および今後の展開に向けての懸案事項なります。

◎今回に向けての確認事項と懸案事項
昨年の地元へのご相談「搬送」「セキュリティ」「道普請」「受け入れ態勢」を含む、具体的な内容確認です。

０１）日程（4/1～2）と予定ルート（集合休憩場所／とことこトレイン通行／トレイルは別紙参照）の確認。

０２）主催者（今回は準備委員会として呼び掛け）と実施規模（最大定員７０名／募集カテゴリーと参加費）。

０３）募集告知（チラシ作成、リリース）と申込事務局（ショップ申込、Ｗｅｂ申込、他？）。

０４）道普請（日程と人員／場所と内容は別紙参照）と試走会（日程と人員）。

０５）運営スタッフの確保と役割分担。（実走／搬送／パートＢ担当／サポート／緊急対応）

０６）その他（宿泊・食事のタイミングやその担当、制作スケジュール、後援等のポジショニング、等々）

◎今後に向けての懸案事項　０７）受け入れ窓口の設置　０８）利活用方法の提案
０９）人材や予算の確保　１０）対外的な連携　１１）その他
地元主導での活動に移行した上で、それを支える形で愛好家が係れるようにし、数年先までの利活用計画を立てる。そして市や県に協力を求め、安定的な展開になるよう、対外的な広域連携も模索する。

2017/02/07　いしまるひであき
コースクリエイト山口（転遊研・いわくに研究会・ＢＥＩ）